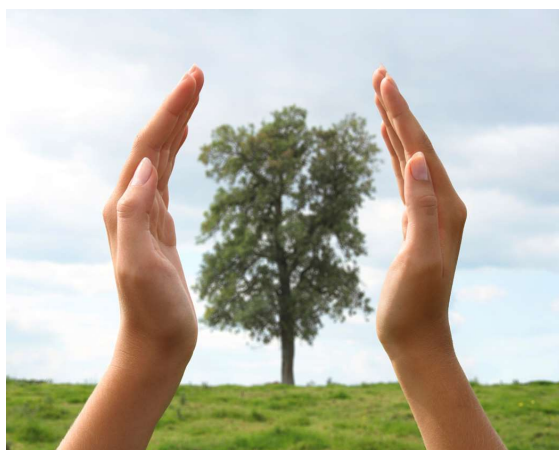


2022年エコアクション21 環境経営レポート

運用期間
2022年9月～2023年8月



2023年11月12日発行

NNF 株式会社 西日本ファシリティー

目次

表紙	P1
目次	P2
1. 組織の概要	P3
2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行	P4
3. 環境経営方針	P5
4. 環境経営目標（中期）	P6
5. 環境経営計画（2022年度）	P7
6. (1)環境経営計画に基づき実施した取組内容	P8
6. (2)実施体制	P9
7. (1)環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその 評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P10
7. (2)次年度以降の環境経営目標（中期）	P11
7. (3)次年度の環境経営計画（2023年度）	P12
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違 反、訴訟等の有無	P13
9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果	P14

1. 組織の概要

①事業者名及び代表者名

株式会社 西日本ファシリティー
代表取締役 中田 朋基

②. 所在地

床面積

本社：広島県福山市東深津町7丁目15番2号	290m ²
三次支店：広島県三次市島敷町19番地2	70m ²
尾道支店：広島県尾道市東御所町1番5号5	30m ²
三原営業所：広島県三原市西野2丁目18番11号	20m ²
府中営業所：広島県府中市鵜飼町91番	20m ²
庄原営業所：広島県庄原市永末町字永末179-2	20m ²
安芸高田営業所：広島県安芸高田市向原町長田1135番地	10m ²
岡山事業所：岡山県岡山市中区倉田622-6（2号棟207）	10m ²

③総責任者及び環境管理責任者氏名

総責任者：代表取締役 中田 朋基
環境管理責任者：取締役常務 杉山 立樹
連絡先
TEL：084-922-2199
FAX：084-928-9188
E-mail：nnf@gaea.ocn.ne.jp

④事業内容

☐ 環境衛生管理業務	☐ 設備管理業務
☐ 警備保障業務	☐ ファシリティーマネジメント業務
☐ 電話・交換業務	☐ 人材派遣業務

⑤事業の規模

創 立：平成11年9月
資本金：4000万円
総従業員数：270名（2023年11月12日時点）
売上高：1000百万円
総床面積：470m²

2. 対象範囲（認証・登録範囲）、レポートの対象期間及び発行日

（1）認証・登録範囲 全組織、全活動

本社：広島県福山市東深津町7丁目15番2号

三次支店：広島県三次市畠敷町19番地 2

尾道支店：広島県尾道市東御所町1番5号5

三原営業所：広島県三原市西野2丁目18番11号

府中営業所：広島県府中市鵜飼町91番

庄原営業所：広島県庄原市永末町字永末179-2

安芸高田営業所：広島県安芸高田市向原町長田1135番地

岡山事業所：岡山県岡山市中区倉田622-6（2号棟207）

（2）レポートの対象期間及び発行日

今回の対象期間：2022年9月1日～2023年8月31日

発行日：2023年11月12日

環境経営方針

基本理念

株式会社 西日本ファシリティは、ビルの総合マネジメント業務を中心として、環境衛生管理業務、設備管理業務、警備保障業務を通じて、限りある資源の有効利用に努めることで、美しい地球環境を保持し未来へ受け渡し、地域社会により良い生活環境を提供する様努めます。

基本方針

- 1 環境関連法規さらに関連団体及び関連企業からの要求事項を順守します。
- 2 環境方針の実行を確実なものとするため、環境方針に則した以下の項目について、目標を設定し、その実行とレビューを行い、継続的改善を図ります。
 - ① 二酸化炭素の排出削減に努めます。
 - ② 水使用量の削減に努めます。
 - ③ 廃棄物排出量の削減に努めます。
 - ④ 人材の育成及び雇用の創出に努めます。
 - ⑤ 環境に配慮した事業運営の推進に努めます。
- 3 行政機関・団体などの環境保全施策に協力すると共に、地域社会における環境保全活動に対し積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。
- 4 環境活動レポートを作成し、環境取組の状況を公表します。

制定日 平成25年8月26日
改定日 令和 2年10月1日

株式会社 西日本ファシリティ

代表取締役 中田 朋基

4. 環境経営目標(中期)

*1:委託している処理業者へ確認した内容から、廃棄物の排出量は、1週間で10kg排出として、年間の排出量を推定した。

環境目標項目	単位	基準年 2021年9月～ 2022年8月	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月
(1) 二酸化炭素の総排出量の削減	kg-CO ₂	139,358	137,964	137,268	136,571
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
	①燃料(軽油・ガソリン)の使用効率の向上	kg-CO ₂	120,904	119,695	119,090
		%	削減割合	1.0%	2.0%
	②電気の節約による資源エネルギーの有効活用 電気の使用効率の向上 *2	kg-CO ₂	18,454	18,269	18,177
		%	削減割合	1.0%	2.0%
(2) 排水の削減	m ³	10 (*3)	10	10	10
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
(3) 廃棄物排出量の削減 *1	kg	720	713	709	706
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
(4) グリーン購入品の促進	品目	10	11	12	13
(5) 自らが提供するサービスに関する項目 (省エネ提案)	件数	2	2	2	2

*2:二酸化炭素の排出係数は、中国電力 2021年度 CO₂調整後排出係数(0.536)で計算している。

*3:排水の削減については、本社移転後、清掃モップ等の品質改善により洗濯水の利用が無くなったため、2020年の実績を基準値としました。

*:化学物質の使用量の削減については、使用はごく少量のため環境経営目標には挙げておりません。

5. 環境経営計画(2022年度)

1. エネルギー投入量の削減

活動期間:2022年9月1日～2023年8月31日

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 購入電力の削減	二酸化炭素の排出削減(年間) 18268kg-CO2	1 照明をこまめに消す	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 決められた冷房温度設定の励行		杉山	○	○	○	○
2 化石燃料使用量の削減	二酸化炭素の排出削減(年間) 119695kg-CO2	1 車両運転方法の配慮 ①冬季夏季のエアコン使用を抑える ②時間的余裕のある走行(急発進停車空ふかしをしない)	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 毎月の燃料使用量を把握し意識の向上		杉山	○	○	○	○

2. 廃棄物排出量の削減

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 産業廃棄物排出量の削減	排出量(年間) 713kg	1 ゴみの分別処理の一層の促進	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる ・分別の推進を図る	杉山	○	○	○	○

3. 総排水量(給水量)の削減

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 上水道使用量の削減	使用量(年間) 11m ³	1 用具の洗浄時に水の出っぱなしをなくす。	従業員の意識の向上をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 水漏れのチェックと防止	推進責任者は日常監視とチェックをする	杉山	○	○	○	○

4. グリーン購入品の促進

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 グリーン購入品の促進	11品目	1 グリーン購入の意識付け	消耗品購入の際、グリーン購入マークを優先	山口、吉岡	○	○	○	○

5. 自然エネルギーを用いた環境配慮型の提案

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 管理物件でのLED化促進	2件	1 省エネ関連の提案力の向上	定期交換時等におけるLED電球の提案	中田、安田	○	○	○	○

6. (1)環境経営計画に基づき実施した取組内容

(1) 二酸化炭素排出量の削減

①購入電力の削減

節電意識の高まりや太陽光発電の導入など複合的な取り組みを行っているが、新事務所の利用で電力使用量の増加及び前回より各事業所の使用電力を加えており、基準年の見直しを行った。

引き続き、全従業員へ向け省エネに関する意識の向上に努める。

②化石燃料使用量の削減

ガソリン、軽油、灯油の使用に関しては、年間総量では、削減できている、今後、より効率的な利用促進を図っていく。

(2) 廃棄物排出量の削減

廃棄物の削減意識は、まだまだこれからである。

分別の取り組みを推進して、今後も継続して行う必要がある。

(3) 排水量の削減

排水の削減については、本社移転後、清掃モップ等の品質改善により洗濯水の利用が無くなったため、2021年の実績を目標とし、生活排水(トイレ、給湯)に限られており大幅な節水となっている。節水意識の維持向上を継続していく。

(4) グリーン購入品の推進

消耗品発注の際のグリーン購入品目の意識は定着

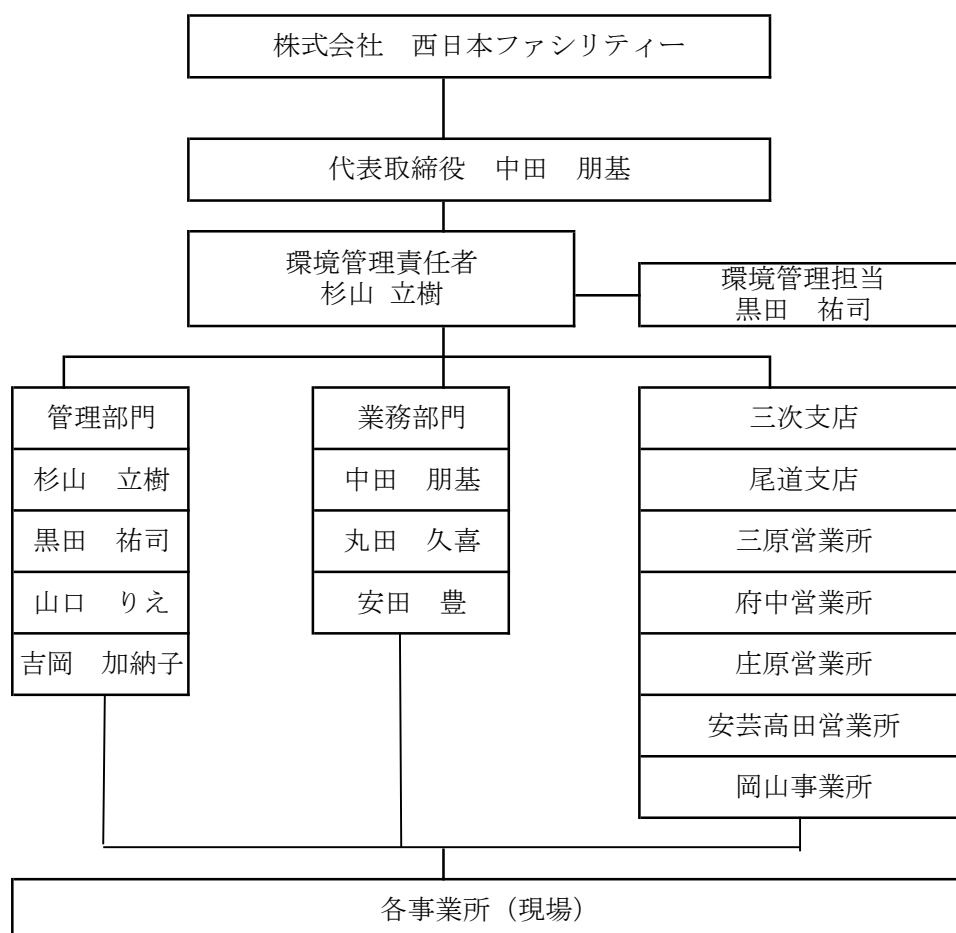
今後も、グリーン購入品の優先的な発注を心がける。

(5) 自然エネルギーを用いた環境配慮型の提案

当社で取り組める環境に配慮した項目で、管理物件での省エネ推進(LED化)の提案は、実効性をもって取り組んでいる。

今後も、提案の重要性認識を努めていく事が効果的と判断する。

6. (2) 実施体制



役割分担例

氏名	所属	責任・権限・使命
中田 朋基	代表取締役 役	全体統括、環境方針の設定、環境への取組を実施するための資源の準備、全体の評価と見直し
杉山 立樹	環境管理 責任者	全体の把握、環境経営システムを構築し、運用し、その状況を報告する
杉山 立樹 安田 豊	EA21運用 の推進	朝礼やミーティング等のコミュニケーションを通して、環境目標の達成状況及び活動計画の実行状況を従業員へ周知させ意識の向上に努める
黒田 祐司	EA21事務 局の管理	EA21文書及び記録類の作成・維持・管理
山口 りえ	管理部門 責任者	電力、水消費量、廃棄物の排出量の管理、環境管理責任者の補佐
安田 豊	運行管理者	車両及び車燃料の管理
中田 朋基	業務部門 責任者	エコドライブ等の推進
各事業所（現場）	EA21運用 の実施	朝礼やミーティング等のコミュニケーションを通して、環境貢献活動の重要性を認識し、各事業所の従業員は活動を実行する。

活動期間:2022年9月1日～2023年8月31日

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組項目		基準値(2021)	2022年9月1日～2023年8月31日		
名称	単位		目標	実績	達成状況
二酸化炭素の排出量(総量)	Kg-CO ₂	139,358	137,964 △1.0%	141,239 102.4%	97.7%
化石燃料	Kg-CO ₂	120,904	119,695 △1.0%	120,318 100.5%	99.5%
購入電力	Kg-CO ₂	18,454	18,269 △1.0%	20,976 114.8%	87.1%

2. 廃棄物排出量の削減

取組項目		基準値(2021)	2022年9月1日～2023年8月31日		
名称	単位		目標	実績	達成状況
一般事業系廃棄物	kg	720	720	720	100.00%

3. 水使用量の削減

取組項目		基準値(*1)	2022年9月1日～2023年8月31日		
名称	単位		目標	実績	達成状況
総排水量	m ³	10	10	10	100.0%

*1:排水の削減については、本社移転後、清掃モップ等の品質改善により洗濯水の利用が無くなったため、2020年の実績を目標としました。

4. グリーン購入品の促進

取組項目		前年度実績	2022年9月1日～2023年8月31日		
名称	単位		目標	実績	達成状況
グリーン購入品	品目	10	11	12	109.1%

5. 省エネ設備の提案促進

取組項目		前年度実績	2022年9月1日～2023年8月31日		
名称	単位		目標	実績	達成状況
管理物件でのLED化促進	件数	2	2	2	100.0%

7. (2)次年度以降の環境経営目標(中期)

*1: 委託している処理業者へ確認した内容から、廃棄物の排出量は、1週間で10kg排出として、年間の排出量を推定した。

環境目標項目	単位	基準年 (2021年度)	2022年9月～ 2023年8月	2023年9月～ 2024年8月	2024年9月～ 2025年8月
(1) 二酸化炭素の総排出量の削減	kg-CO ₂	139,358	137,964	137,268	136,571
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
	①燃料(軽油・ガソリン)の使用効率の向上	kg-CO ₂	120,904	119,695	118,486
		%	削減割合	1.0%	2.0%
	②電気の節約による資源エネルギーの有効活用 電気の使用効率の向上 *2	kg-CO ₂	18,454	18,270	18,177
		%	削減割合	1.0%	2.0%
(2) 排水の削減	m ³	10	10	10	10
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
(3) 廃棄物排出量の削減 *1	kg	720	713	709	706
	%	削減割合	1.0%	1.5%	2.0%
(4) 自らが提供するサービスに関する項目 (省エネ提案)	件数	2	2	2	2

*2: 二酸化炭素の排出係数は、中国電力 2022年度 CO₂調整後排出係数(0.536)で計算している。

*: 化学物質の使用量の削減については、使用はごく少量のため環境経営目標には挙げておりません。

7. (3)次年度の環境経営計画(2023年度)

1. エネルギー投入量の削減

活動期間:2023年9月1日～2024年8月31日

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 購入電力の削減	二酸化炭素の排出削減(年間) 18177kg-CO2	1 照明をこまめに消す	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 決められた冷房温度設定の励行		杉山	○	○	○	○
2 化石燃料使用量の削減	二酸化炭素の排出削減(年間) 119090kg-CO2	1 車両運転方法の配慮 ①冬季夏季のエアコン使用を抑える ②時間的余裕のある走行(急発進停車空ふかしをしない)	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 毎月の燃料使用量を把握し意識の向上		杉山	○	○	○	○

2. 廃棄物排出量の削減

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 産業廃棄物排出量の削減	排出量(年間) 706kg	1 ゴミの分別処理の一層の促進	・推進責任者が日常監視する ・会議や朝礼でより意識の徹底をはかる ・分別の推進を図る	杉山	○	○	○	○

3. 総排水量(給水量)の削減

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 上水道使用量の削減	使用量(年間) 10m ³	1 用具の洗浄時に水の出っぱなしをなくす。	従業員の意識の向上をはかる	杉山	○	○	○	○
		2 水漏れのチェックと防止	推進責任者は日常監視とチェックをする	杉山	○	○	○	○

4. 自然エネルギーを用いた環境配慮型の提案

取組項目	環境目標	活動項目	方法・対策	推進責任者	スケジュール			
					9月～11月	12月～2月	3月～5月	6月～8月
1 管理物件でのLED化促進	2件	1 省エネ関連の提案力の向上	定期交換時等におけるLED電球の提案	中田、安田	○	○	○	○

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1) 弊社事業活動に関わる環境関連法規等の順守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

環境関連法規等	順守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	○
PRTR法	○
消防法	○
労働安全衛生法	○
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律	○
家電リサイクル法	○(発生事例なし)
自動車リサイクル法	○

- (2) 関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情は、過去3年間において、ありませんでした。

9. 代表者による全体の取組状況の評価と見直し・指示の結果

【全体評価】

環境経営システムが有効に機能しているか

民間請負及び官庁等への一般入札を主とする当社としては、経営環境は厳しい状況が続いている。環境活動及びその取り組みを顧客へアピールして、経営(受注)につなげてほしい。

環境への取組は適切に実施されているか

環境経営計画に沿った実施活動は適切であると評価する。
広島県SDGsビジネスコミュニティへの登録を行い、環境貢献意識の向上に努めている。

内部監査の実施状況

2023年10月25日にて内部監査を実施しました。結果としては、問題の発生もなく、意識の面においても責任者中心に意識付けされていました。

前回までの指示に対する実施内容の報告

- ・日々における報告・連絡・相談の定着は維持できています。
- ・社内外の情報は掲示や回覧により社内全員への情報共有を行ってきています。
- ・環境への取組において、SDGsをキーワードに今後展開

【変更の必要性和指示】

環境経営方針

環境経営方針の変更はない。

環境経営目標・環境経営計画

- ・引き続き、報告・連絡・相談の重要性を認識させること。
- ・社内外の情報を積極的に取得し、取得した情報を各事業所へも展開すること。
- ・数値化を基に、コスト意識も周知すること。

実施体制の評価と指示

これまでのエコアクション21の体制及び取り組みを継続して、充実させること。